

鳥インフルエンザの発生に関して

2023年9月4日
キューピータマゴ（株）

1 今回の鳥インフルエンザで原料鶏卵が減少した際の対応について

実際に現場で発生した状況

- ・ 契約農家が被災した場合、該当する工場では予定の生産が不可能になった
- ・ 影響が表れる速さ・・・①茹卵、②チルド液卵、③凍結液卵・加工品

背景となるポイント

- ・ 全国に工場があり、契約した農家の被災の有無による直接的影響が大きい
- ・ 購買は、規格に適合した農場との契約がメインで当用購買の比率は低い

2 原材料を調達する際の情報収集と意思決定について

- ・ 養鶏産地、鶏卵業者との商談を中心に調達に関する情報収集を自社で実施
- ・ 納入先業者との商談を通じて、需要に関する情報収集（提案による需要喚起）

3 原材料の供給が減少するケースを想定した場合の影響について

（1）減少幅による当社の影響と対応

- ① 1割未満の減少
- ② 2割程度の減少
- ③ 3割以上の減少

影響：契約農場が被災した場合に生産が停止する
対応：得意先にお詫びの上で納入を減少する

（2）減少幅による、業界全体への影響、波及効果

- ①凍結液卵の在庫がある場合は、減少幅に合わせ在庫量で調整する
- ②減少期間が長く、在庫がなくなる場合、多くの品目で生産停止が発生
- ③得意先によっては、加工食品生産停止、売場の棚の欠落、メニューカット
※ これらが発生すると、需要が消失し、その復帰には長い期間を要する

（3）減少幅による、価格高騰と許容範囲

- ・ 鶏卵相場を元に契約をしても、市況がそれ以上になり入手困難が発生した
- ・ 今回は、市販用のパック卵の特売が落ち着く3月までが特に顕著だった

（4）原料価格が異常に高騰した場合の、輸入について

- ・ 輸入の判断は、価格の高騰ではなく、原料確保による供給責任が優先事項
- ・ 鮮度の品質保証が非常に重要であり、特別対応により高価な購買となる

4 原料鶏卵の不足に関する考察

- ・ 契約農家の被災により、ピンポイントで著しく不足する事が問題となった（業者間で確保が過熱する ①市販用パック卵、②業務用箱卵、③原料用）
- ・ 早期の段階で、バランスを取るアクションが望まれる

以上